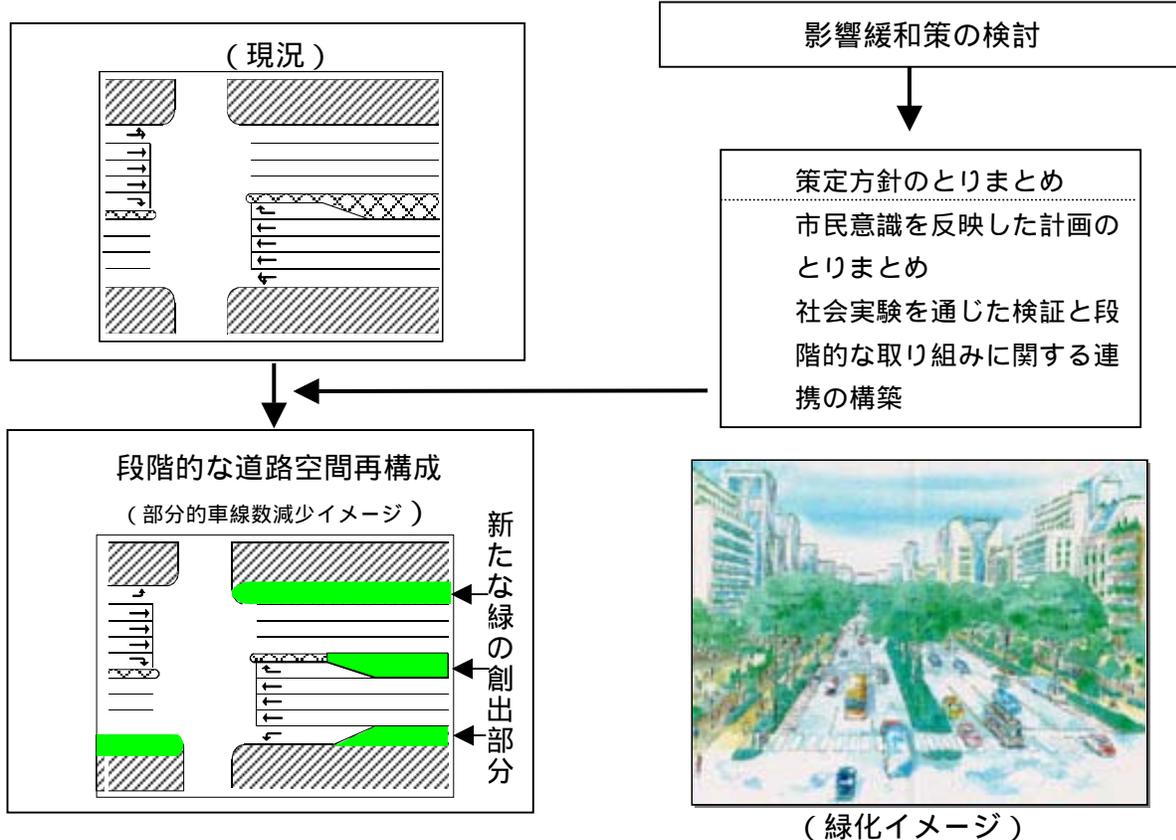


平成14年度都市再生プロジェクト事業推進費(調査分)事例

緑美しい都市の実現
～段階的再構成による既存道路空間の緑化～

調査名	道路空間再構成による緑の創出手法検討調査		
実施年度	平成14年度	配分額	50,899千円
実施省庁	国土交通省		
調査内容	<p>平成14年7月の都市再生プロジェクト(第四次決定)「地方中枢都市における先進的で個性ある都市づくり」においては、仙台市における取組として、都心部の既存の広幅員道路空間の再構成などにより緑を創出することとされ、これを具体的に実現するため、同年11月に国、県、市及び民間から構成される「緑美しい杜の都推進協議会」及び「緑美しい杜の都を考える懇談会」が設立された。</p> <p>本調査では、全国的に道路空間における緑地空間の増大を図る観点から、仙台市をモデルとして、道路交通への影響を最小限に抑制しつつ、段階的な取り組みを含む、緑を創出するための道路空間の再構成手法について検討した。</p>		

既存の広幅員道路空間の段階的再構成による道路空間の緑化手法



調査成果の活用

仙台市中心部における道路現況、交通現況を踏まえつつ、緑化スペース拡大のため、車線数の部分的減少等の道路空間再構成手法(案)を作成。

各手法の適用に伴う交通への影響をシミュレーション等により把握し、影響緩和策を検討。

上記検討結果を踏まえ、段階的な道路空間再構成計画の策定方針をとりまとめ。

街路樹を剪定しない「緑陰道路プロジェクト」第一次モデル地区(平成15年3月指定・13地区)の一つとして仙台市を指定し、緑化の一層の推進を図るとともに、平成15年度に社会実験を実施予定。